



(本誌はホームページでもご覧いただけます。)

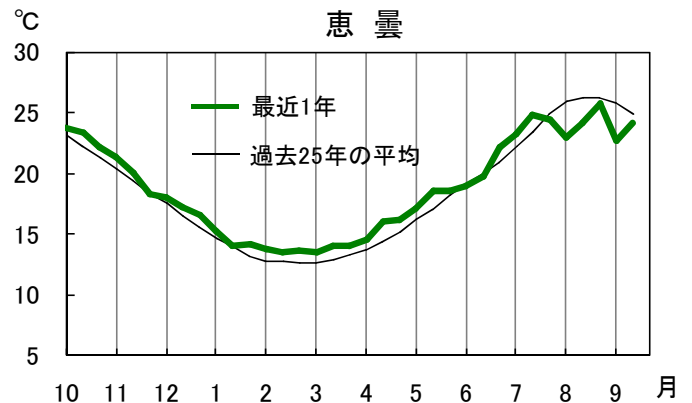
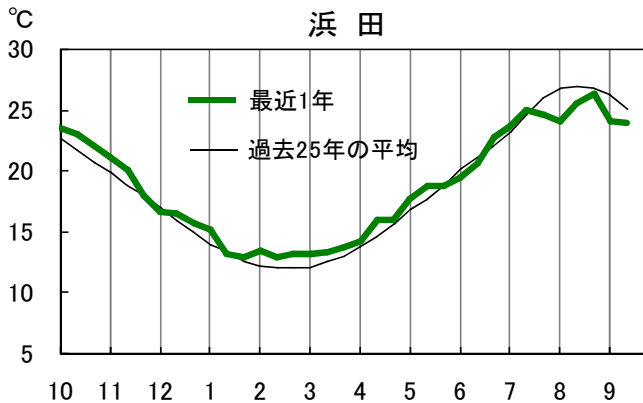
<http://www.pref.shimane.lg.jp/suigi/>

(TEL 0855-22-1720)

《8-9月の海況》

8月	月平均	平年差	評価
浜田	25.3℃	-1.5℃	やや低め
恵曇	24.3℃	-1.8℃	やや低め

沿岸定地水温は、8月は浜田、恵曇とも「かなり低め～平年並み」で推移しました。9月に入ってから、浜田では「かなり低め～やや低め」、恵曇では「はなはだ低め～平年並み」で経過しています。



《 8月の漁況 》

【中型まき網漁業】

浜田地区ではマアジ、サバ類、マイワシ、ウルメイワシ主体の漁況で総漁獲量は平年の2.5倍でした。マアジは1歳魚が主体に漁獲され、その漁獲量は平年の1.3倍でした。また、サバ類はマサバが主体に漁獲され、その漁獲量は平年の7.1倍でした。西郷地区及び浦郷地区ではマアジ、マイワシ、カタクチイワシ主体の漁況で総漁獲量はそれぞれ平年の1.6倍及び2.1倍でした。なかでもマイワシの漁獲量は平年の18～22倍でした。どの地区でもマアジの漁獲量が平年を上回ったこと、また、県東部でマイワシがまとまって漁獲されたことが特徴的でした。

【イカ釣漁業】

浜田地区(属地5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁況で、その漁獲量は平年の5割と低調であったため総漁獲量は平年の5割でした。一方、西郷地区(属人5トン以上)ではケンサキイカ主体の漁況で、ケンサキイカの漁獲量は平年の1.1倍でした。ただ、例年この時期はスルメイカの漁獲も多く、その漁獲量は平年を大きく下回ったため(平年の1割)、総漁獲量は平年の6割に留まりました。

【バイかご漁業】

石見・出雲地区のバイかご漁業の総漁獲量は16.5トンで、平年の7割の水揚げに留まりました。また、主漁獲対象であるエッチュウバイは、銘柄「大」が主体であり、漁獲量は13.5トン、1隻1航海当たりの漁獲量は299kgであり、1隻1航海当たりの漁獲量は平年・前年の7割の水揚げに留まりました。

【沖合底びき網漁業】

浜田港ではムシガレイ・ケンサキイカ主体の漁獲でした。休漁明け以降、大型クラゲの入網による破網など操業に影響が出ています。1統1航海当たり漁獲量は10.5トンで、前年を下回りましたが、平年(過去10年平均)を10%上回りました。特にケンサキイカの1統1航海当たり漁獲量は前年の3.5倍、平年の2.1倍で、8月としては平成16年以来のまとまった水揚げとなりました。

【シイラまき網漁業】

石見地区のシイラまき網漁業は1隻1航海あたりの総漁獲量は577kgで前年の3割、平年の4割と低調な漁況でした。水揚げ日数が平年の7割であったことも影響し、漁獲の主体であったシイラの漁獲量は45トンで平年の3割と低調で、ヒラマサの漁獲量は1トンで平年の4割と低調でした。

【定置網漁業】

石見地区の漁獲量は、1統当りではマアジが平年の2.0倍、ブリが3.8倍と好調で、全統では平年の1.3倍でした。出雲地区の1統当りは、マアジが平年の2.9倍、ブリが2.3倍と好調で、全統では平年の1.8倍でした。隠岐地区の1統当りは、ブリが平年の7割でしたが、マアジが平年の1.4倍で、全統では平年並みでした。

【釣・縄】

石見地区ではケンサキイカ、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は25kgで平年を上回りました。出雲地区ではケンサキイカが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は22kgで平年を上回りました。隠岐地区ではケンサキイカ、キダイ、カサゴ・メバル類、メダイが主に漁獲され、1隻1航海あたりの総漁獲量は24kgで平年並みでした。どの地区でもケンサキイカの漁獲量が平年を上回ったことが特徴的でした。

【平成 21 年 8 月の漁獲統計】

漁業種類	水揚港	主要魚種	総漁獲量			CPUE(1 隻(統)1 航海あたり漁獲量)			漁模様
			漁獲量	前年比 %	平年比 %	漁獲量	前年比 %	平年比 %	
まき網 (中型・大 中型)	浜田	マアジ、サバ類、マイワシ、ウルメイワシ	477トン	309%	250%	16.4トン	160%	259%	◎
	西郷	マアジ、マイワシ、カタクチイワシ	3,326トン	128%	160%	36.1トン	109%	144%	◎
	浦郷	マアジ、マイワシ、カタクチイワシ	3,070トン	252%	207%	40.9トン	161%	160%	◎
イカ釣り (5トン以上)	浜田	ケンサキイカ	40トン	53%	46%	128 kg	44%	65%	▲
	西郷	ケンサキイカ	16トン	94%	62%	61 kg	61%	50%	▲
バイかご	久手	エッチュウバイ	17トン	62%	70%	492kg	100%	98%	○
沖合 底びき網	浜田	ムシガレイ、ケンサキイカ	168トン	93%	98%	10.5トン	93%	110%	○
シイラまき	和江	シイラ	19トン	18%	20%	474 kg	24%	30%	▲
定置網 (大型)	浜田	マアジ、ブリ、ケンサキイカ	33トン	284%	205%	1,518kg	258%	183%	◎
	美保関	マアジ、サバ類、サワラ類	174トン	226%	233%	1,880kg	202%	223%	◎
	浦郷	カワハギ類、サバ類、ブリ	10トン	374%	123%	531kg	485%	123%	○
釣り・縄	仁摩	ケンサキイカ、メダイ	32トン	442%	220%	48 kg	206%	161%	◎
	大社	ケンサキイカ、マアジ、カサゴ・メバル類	5トン	291%	104%	12 kg	125%	93%	○
	西郷	メダイ、カサゴ・メバル類、ケンサキイカ	15トン	190%	118%	34 kg	118%	120%	◎

平年比：過去 5 年（沖底のみ 10 年）の平均値との比較 漁模様（CPUE）：◎が平年以上、○が平年並み、▲が平年以下